

# Agda による対位法の形式化

叢 悠悠（東京工業大学）

## 背景：プログラミング言語における型規則 vs. 音楽理論における作曲規則

$$\frac{\Gamma \vdash e_1 : \text{int} \quad \Gamma \vdash e_2 : \text{int}}{\Gamma \vdash e_1 + e_2 : \text{int}}$$

$1 + 2 \quad \checkmark$  $1 + \text{true} \quad \times$

出現する和音はすべて協和音  
(1, 3, 5, 6, 8度)